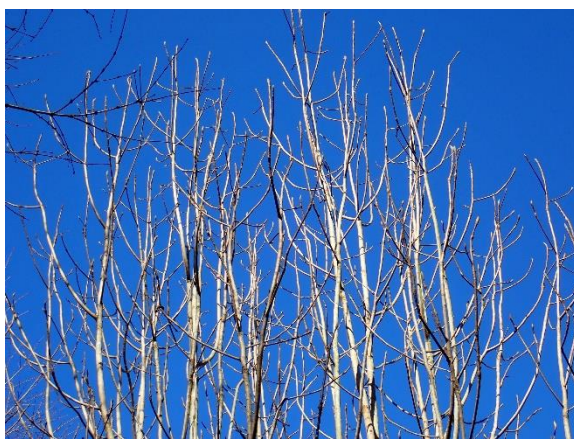


森林インストラクターの森活動報告（キノコの駒打ち）

期 日：2021年3月14日（日）晴れ
参加者：7名（池田、小泉、高杉、辰尾
服部、星野、横山）

報告者：服部保典

前日の大雨と強風により森林インストラクターの森までの道に小枝が落ち、荒れた道となっていました。コロナウイルスの緊急事態宣言中ではありますが、キノコの植菌の時期は待つてはくれませんので、有志の活動として森林内でのキノコ栽培のための駒打ち作業を行いました。また、林内に設置している動物カメラのデータを回収しました。



ホオノキ

《キノコの駒打ち》

例年、森林インストラクターの森に伸びるヒノキをはじめ、実験的に様々な樹木を原木としてキノコ栽培を行っており、今回はヒノキ（シイタケ1、ナメコ11）、サクラ（シイタケ2、ナメコ1）クリ（シイタケ2）、カリン（シイタケ1）、トチノキ（シイタケ11）の計29本に駒打ちを行いました。



これまで、継続して植菌した櫓木はヒノキ林内に置かれており2021年3月現在で、ヒノキ、カツラ、トチノキ、コナラで発生が確認されています。植菌当時にはタブノキなどもありましたがクスノキ科は防虫効果もあることから、やはり生えなかったようです。

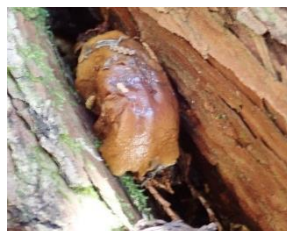
このほか2020年度にはカキに植え付けをしていますが、まだ発生は確認できていません。カリンの木は初めての試みですが、かなり固い木で、実には強い香りがあるので、個人的には生えてこないのではと想像していますが、今後の生育状況を観察していきます。

《きのこの発生状況の調査(2021年3月14日)》

2017年3月 植菌



シイタケ(トチノキ)

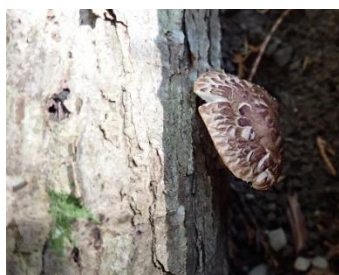


ナメコ(ヒノキ)

2018年3月 植菌



シイタケ(ヒノキ)



シイタケ(カツラ)



シイタケ(コナラ)



シイタケ(カツラ)



シイタケ(トチノキ)



ナメコ(ヒノキ)

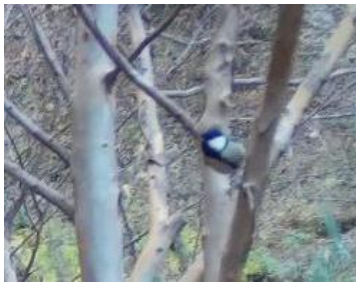
2020年3月 植菌.....まだ発生せず。

《動物カメラ》

森林インストラクターの森の動物の生息状況を確認するため林内に動物カメラを設置しています。これまでにシカ、イノシシ、ヤマドリなどのほ乳類9種、鳥類2種が確認でき、埼玉森林インストラクター会の [youtube](#) に公開されています。

これに加えて、ニホンカモシカ、アオゲラなどの鳥類数種が新たに確認されました。天然記念物のカモシカは過去にも発見例があるようで、森の豊かさに改めて驚かされました。

撮りたまったデータは順次報告していきたいと思います。



シジュウカラ(2020.11.24 撮影)



キジバト(2021.1.3 撮影)



ニホンカモシカ(2021.1.4 撮影)

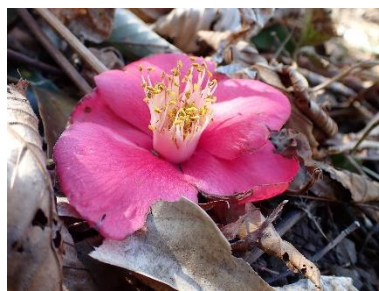
《山の様子》



春の小川



タチツボスミレ



ヤブツバキ



野鳥の巣